

(議案第1号関係)

令和6年度
事業報告書

令和 6年 4月 1日から
令和 7年 3月31日まで

令和6年度 事業総括

令和6年度の本会事業ですが、酪農畜産情勢の厳しい中、牛や馬などの予防注射事業（発生予防事業）は、計画頭数908,700頭に対し、実績頭数は840,198頭で計画比92.5%の実績となりました。

国の補助事業につきましては、ヨーネ病の自主的な検査やとう汰、牛ウイルス性下痢（BVD）の持続感染牛の自主的なとう汰などへの助成事業である「家畜生産農場衛生対策事業」につきましては、関係機関のご協力により、申請者等へ円滑な助成を行うことができました。

また、死亡牛のBSE検査費などへの助成事業である「死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業」についても、関係者の皆様のご尽力により、大きな混乱もなく事業を推進することができました。

口蹄疫、アフリカ豚熱等の海外悪性伝染病の万が一の発生に備える「家畜防疫互助基金支援事業」につきましては、新たに令和6年度から令和8年度までの事業期間となり、令和6年度末現在、2,519戸の牛飼養農場、54戸の豚飼養農場が加入しています。

そのほか、公益社団法人中央畜産会等の助成事業なども含めまして、令和6年度の協会事業は、ロシアのウクライナへの侵略に端を発した世界的な生産資材価格の上昇など、多くの課題があるなか、各地域の自衛防疫組合や関係機関・団体の皆様のご理解とご協力のもとに円滑に推進できたことをご報告いたします。

第 1 一 般 会 務

1. 会 員

(1) 正会員 27団体

ア. 寄託会員 19団体

北海道。ホクレン農業協同組合連合会。北海道農業共済組合。一般社団法人ジェネティクス北海道。十勝管内家畜自衛防疫推進協議会。空知地区家畜自衛防疫推進協議会。上川地区家畜自衛防疫連絡協議会。石狩地区家畜自衛防疫推進協議会。釧路地区家畜自衛防疫連絡協議会。日高家畜衛生防疫推進協議会。後志家畜自衛防疫推進協議会。留萌地区家畜畜産物自衛防疫推進協議会。根室家畜伝染病自衛防疫推進協議会。胆振家畜自衛防疫推進協議会。オホーツク家畜自衛防疫推進協議会。公益社団法人北海道獣医師会。檜山地区家畜自衛防疫推進協議会。渡島地区家畜伝染病自衛防疫推進協議会。宗谷地区家畜自衛防疫推進協議会。

イ. 会費会員 8団体

北海道農業協同組合中央会。一般社団法人北海道酪農畜産協会。北海道ホルスタイン農業協同組合。北海道町村会。北海道乳質改善協議会。一般社団法人北海道酪農協会。北海道養鶏会議。一般社団法人ばんえい競馬馬主協会。

(2) 賛助会員 9団体

北海道信用農業協同組合連合会。雪印メグミルク株式会社。日高軽種馬農業協同組合。株式会社明治。よつ葉乳業株式会社。北海道動物器薬協会。北海道乳業株式会社。胆振軽種馬農業協同組合。一般社団法人北海道養豚生産者協会。

2. 役員の異動

第52回通常総会で役員の任期満了に伴う役員の選任並びに第2回理事会で会長等の選定が行われ、次の方が就任された。(敬称略)

役 職 名	氏 名	所 属 団 体	備 考
会長	岡田 恒博	北海道農業共済組合	
副会長	田村 豊	(公社)北海道獣医師会	
副会長	西野 一	ホクレン農業協同組合連合会	
専務理事	渡邊 斉	(公社)北海道家畜畜産物衛生指導協会	
理事	酒井 利夫	北海道養鶏会議	
理事	伊藤 榮一	石狩地区家畜自衛防疫推進協議会	
理事	熊谷 留夫	上川地区家畜自衛防疫連絡協議会	
理事	駒澤 弘義	日高家畜衛生防疫推進協議会	
理事	齊藤 哲	十勝管内家畜自衛防疫推進協議会	
代表監事	秋元 勝彦	(一社)北海道酪農畜産協会	
監事	鈴木 圭	北海道農業協同組合中央会	

3. 総会の開催

第52回通常総会を令和6年6月12日に札幌市中央区北2条西7丁目の北海道立道民活動センターで開催、議案及び決議事項は次のとおり。

- (1) 令和5度事業報告及び決算の承認について
- (2) 令和6年度会費の賦課額と徴収方法の決定について
- (3) 令和6年度役員報酬総額の承認について
- (4) 令和6年度借入金の最高限度額の承認について
- (5) 役員の改選について
- (6) 令和6年度事業計画、収支予算の報告について

4. 理事会の開催

第1回理事会 令和6年5月13日 北海道第2水産ビル

- (1) 第52回通常総会の開催について
- (2) 第52回通常総会提案事項について
- (3) 職務執行状況の報告について

第2回理事会 令和6年6月12日 道民活動センター

- (1) 会長、副会長、専務理事、代表監事の選定について
- (2) 令和6年度役員報酬の執行について
- (3) 令和6年度事業報告書提出について

第3回理事会 令和6年12月11日 北海道第2水産ビル

- (1) 報告事項
 - ア 上半期財務状況について
 - イ 上半期各事業の進捗状況について
 - ウ 寄託金等の運用状況について
 - エ 職務執行状況について
- (2) 協議事項
 - ア 旅費規程の一部改正について

第4回理事会 令和7年3月11日 北海道第2水産ビル

- (1) 令和7年度事業計画案について
- (2) 令和7年度発生予防事業対価案について
- (3) 令和7年度収支予算案について
- (4) 業務方法書の一部改正について
- (5) 第53回通常総会の開催案について

5. 寄 託 金

金 66,800,000 円 (334口) 一口 200,000 円

寄 託 会 員 名	口 数	寄 託 額
北 海 道	125 口	25,000 千円
ホクレン農業協同組合連合会	150	30,000
北海道農業共済組合	25	5,000
一般社団法人ジェネティクス北海道	10	2,000
十勝管内家畜自衛防疫推進協議会	1	200
空知地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
上川地区家畜自衛防疫連絡協議会	1	200
石狩地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
釧路地区家畜自衛防疫連絡協議会	1	200
日高家畜衛生防疫推進協議会	1	200
後志家畜自衛防疫推進協議会	1	200
留萌地区家畜畜産物自衛防疫推進協議会	1	200
根室家畜伝染病自衛防疫推進協議会	1	200
胆振家畜自衛防疫推進協議会	1	200
オホーツク家畜自衛防疫推進協議会	1	200
公益社団法人北海道獣医師会	10	2,000
檜山地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
渡島地区家畜伝染病自衛防疫推進協議会	1	200
宗谷地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
計 (19団体)	334	66,800

6. 会 費

金 500,000 円

会 費 会 員	会 費 額	賛 助 会 員	会 費 額
北海道農業協同組合中央会	千円 50	北海道信用農業協同組合連合会	千円 30
一般社団法人北海道酪農畜産協会	60	雪印メグミルク株式会社	30
北海道ホルスタイン農業協同組合	50	日高軽種馬農業協同組合	50
北海道町村会	20	株式会社 明治	30
北海道乳質改善協議会	20	よつ葉乳業株式会社	30
一般社団法人北海道酪農協会	10	北海道動物器薬協会	30
北海道養鶏会議	10	北海道乳業株式会社	20
一般社団法人ばんえい競馬馬主協会	20	胆振軽種馬農業協同組合	20
		一般社団法人北海道養豚生産者協会	20
計 (8団体)	240	計 (9団体)	260

第 2 事業実施成績

1. 発生予防事業(公益目的事業、収益事業等)

次頁のとおり下記事業による予防接種を実施。

(1) 補助事業発生予防事業(農林水産省 家畜生産農場衛生対策事業:公益目的事業)

ア. アカバネ病

(2) 特定疾病発生予防事業(北海道家畜畜産物衛生指導協会事業:公益目的事業)

ア. 牛5種混合(生)(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

イ. 牛5種混合(不)(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス)

ウ. 牛6種混合(生)(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

エ. 牛6種混合(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

オ. 牛嫌気性菌5種と上記のアからエのいずれかとの同時接種

カ. 牛嫌気性菌5種

キ. 牛下痢5種混合(不)

ク. ニューカッスル病(生)

ケ. ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎混合

コ. 馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)

サ. 日本脳炎(馬)

シ. 馬インフルエンザ

ス. 破傷風(馬)

セ. 馬鼻肺炎(生)

ソ. 豚丹毒(生、不)

タ. 豚流行性下痢(PED)

チ. 豚伝染性胃腸炎(TGE)・豚流行性下痢混合

(3) 育成馬等予防接種推進事業(中央畜産会助成事業:収益事業等)

ア. 馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)(対象:競走用育成馬)

イ. 馬インフルエンザ(対象:競走用育成馬、繁殖牝馬(軽種馬))

(4) 馬インフルエンザ等自衛防疫推進事業(中央畜産会助成事業:収益事業等)

ア. 馬インフルエンザ(対象:農用馬、乗用馬等)

イ. 馬鼻肺炎(生)(対象:妊娠馬)

令和6年度 発生予防事業実績集計表

(単位:頭、羽)

疾 病 名	計 画 (A)	実 績 (B)	計 画 比 (B/A)
豚 丹 毒	126,200	127,571	101.1
豚伝染性胃腸炎(TGE)・ 豚流行性下痢(PED)混合	0	0	
ニ ュ ー カ ッ ス ル 病	19,000	4,000	21.1
牛 伝 染 性 鼻 気 管 炎	563,200	521,225	92.5
牛 嫌 気 性 菌 5 種	93,700	81,869	87.4
ア カ バ ネ 病	5,300	4,456	84.1
牛 下 痢 5 種 混 合	40,200	38,982	97.0
馬 3 種 混 合	29,400	29,406	100.0
日 本 脳 炎 (馬)	400	430	107.5
馬 インフルエンザ	13,600	13,160	96.8
馬 鼻 肺 炎 (生)	17,700	19,099	107.9
馬 破 傷 風	0	0	
合 計	908,700	840,198	92.5

(地区別内訳は別紙1)

2. 令和6年度 検査推進事業（農林水産省補助事業：公益目的事業）

(1) 家畜生産農場衛生対策事業

ア. 疾病清浄化支援対策

(ア) 牛疾病防疫支援対策

○ ヨーネ病自主検査

移動牛等を対象に、自主検査(血清反応・培養検査)を関係機関の協力により実施。

・自主検査 乳用牛 1,254頭 肉用牛 25,643頭 合計 26,897頭

(内訳は表①のとおり)

○ ヨーネ病発生農場における自主とう汰

ヨーネ病発生農場飼養牛の自主的なとう汰を関係機関の協力により実施。

乳用牛 111頭 肉用牛 51頭 合計 162頭 (内訳は表①のとおり)

○ 牛伝染性リンパ腫の検査、自主とう汰

牛伝染性リンパ腫発生農場や公共牧場の検査及びハイリスク牛の自主とう汰や吸血昆虫駆除対策を関係機関の協力により実施。

・農場での検査 35農場 2,564頭

・ハイリスク牛の自主とう汰 0農場 0頭

・公共牧場での検査 1牧場 422頭

・公共牧場の吸血昆虫対策 8牧場

○ 牛ウイルス性下痢(BVD)対策

BVD発生農場等の検査、持続感染牛の自主とう汰などを関係機関の協力により実施。

・農場での検査 602牧場 3,703頭

・持続感染牛の自主淘汰 13農場 37頭 (内訳は表②のとおり)

(イ) 豚疾病防疫支援対策

種豚生産農場のオースキー病抗体検査、証明書の発行などを関係機関の協力により実施。

・抗体検査、証明書の発行 2農場 16頭

(ウ) 地域慢性疾病清浄化支援対策

牛マイコプラズマ乳房炎の清浄化のため、関係者が一体となった取り組みなどに助成を実施。

・実施団体 JAオホーツクはまなす

・検討会の開催 4回実施

・農場の検査 92農場 バルク乳 814件、個乳 4,339件、同定検査 2件

・感染牛の自主とう汰 0農場 0頭

イ. 農場飼養衛生管理強化対策

農場の飼養衛生管理向上のため、農場が支払った獣医師指導経費に助成。

・指導実施農場 323農場(牛飼養農場)

ウ. 疾病発生・流行防止支援対策

・アカバネ病ワクチン接種 4,456頭 (詳細は、発生予防事業成績(別紙1)のとおり)

(表①)

ヨーネ病自主検査並びに自主とう汰実施頭数(令和6年度)

事業 地区	自 主 検 査 頭 数										自主とう汰頭数				備考
	血 清				細菌培養・PCR				合計		戸数	乳用牛 頭数	肉用牛 頭数	頭数 合計	
	乳 用 牛		肉 用 牛		乳 用 牛		肉用牛		戸数	頭数					
	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数							
石 狩			167	470					167	470	3	2	1	3	
道南(渡島)	2	107	311	818					313	925					
道南(桧山)	4	6	286	619					290	625					
後 志			100	274					100	274					
空 知			274	1,244					274	1,244	1		2	2	
上 川	41	354	319	1,018					360	1,372					
留 萌			113	331			13	52	126	383	1		4	4	
宗 谷	5	9	94	259					99	268	2	2		2	
オホーツク	1	1	926	3,013					927	3,014	4	2	2	4	
胆 振	3	5	769	1,950					772	1,955	1		3	3	
日 高	14	106	860	2,024					874	2,130	9		16	16	
十 勝	13	219	1,892	9,672			17	67	1,922	9,958	34	67	19	86	
釧 路	13	15	515	2,730					528	2,745	10	16	3	19	
根 室	38	432	333	1,102					371	1,534	6	22	1	23	
合 計	134	1,254	6,959	25,524			30	119	7,123	26,897	71	111	51	162	

注 1 自主検査の戸数は延べ戸数である。

(表②)

牛ウイルス性下痢・粘膜病検査、予防接種、自主とう汰実施頭数(令和6年度)

事業 地区	検 査 頭 数						自 主 と う 汰 頭 数				備考
	血 清				合 計		戸数	乳用 牛 頭数	肉用 牛 頭数	頭数 合計	
	乳 用 牛		肉 用 牛		戸数	頭数					
	戸数	頭数	戸数	頭数							
石 狩											
道南(渡島)											
道南(桧山)											
後 志											
空 知			5	101	5	101	1		3	3	
上 川	49	886	22	62	71	948	1	1		1	
留 萌	2	87			2	87	1	1		1	
宗 谷	23	181			23	181					
オホーツク	331	695			331	695	2	2	1	3	
胆 振											
日 高											
十 勝	136	1,633	34	58	170	1,691	7	23	5	28	
釧 路							1	1		1	
根 室											
合 計	541	3,482	61	221	602	3,703	13	28	9	37	

注 1 検査の戸数は延べ戸数である。

(2) 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業(牛疾病検査円滑化推進対策事業)

ア. 事業実施頭数

事業対象死亡牛頭数	左のうち		備考
	BSE検査頭数	検査除外頭数	
2,469頭	2,469頭	0頭	全頭陰性

イ. 死亡牛適正処理推進協議会の開催

開催時期	開催場所	協議内容	参加人員	備考
令和7年1月21日	札幌市	北海道より死亡牛BSE検査体制の見直し、当協会より事業の進捗状況説明	17名	協議会構成 団体間で情報共有

3. 令和6年度 中央畜産会等助成事業（収益事業等）

(1) 馬飼養衛生管理特別対策事業

ア. 馬飼養管理技術講習会、馬臨床に係る現地検討会の開催

馬関係獣医師の技術並びに馬飼養者の自衛防疫意識の向上を図るため講習会、検討会を開催。

開催時期	開催場所	講 師	講習内容	参加人員
令和6年10月29日	苫小牧市	社台ホースクリニック田上 正幸 先生 ほか5名	馬の呼吸器疾患をテーマに6講演	67名(動画視聴102名)
令和6年11月21日	新ひだか町	NOSAI北海道家畜高度医療センター樋口 徹 先生	40年の二次診療から	76名(動画視聴160名)

イ. 地域馬獣医療実態調査

調査時期	調査地域	調査対象	調査内容
令和6年10～12月	全道一円	馬飼養農家 173戸 (軽種馬を除く)	衛生管理基準の遵守状況、馬伝染性 疾病発生予防対策のアンケート調査

(2) 育成馬等予防接種推進事業

競走馬の馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)、馬インフルエンザ予防接種に助成。

馬3種混合 27,074頭 馬インフルエンザ 11,463頭

(3) 馬インフルエンザ等自衛防疫推進事業

ア. 馬鼻肺炎予防接種

妊娠馬の馬鼻肺炎ワクチン接種に助成。 (生) 17,280頭

イ. 馬インフルエンザ予防接種

馬インフルエンザの清浄化の確認と維持を図るため、乗用馬・農用馬等の予防接種に助成。

区 分 \ 用途別	実施頭数			合計
	農用馬	乗用馬	その他関連馬	
馬インフルエンザワクチン接種	71	402	68	541

ウ. 地域馬伝染性疾病防疫推進検討会の開催

馬伝染性疾病の防疫強化を図るため、令和6年9月17日と令和7年2月13日に札幌市で開催。

(4) 組織強化対策事業

ア 地域自衛防疫活動の強化並びに農場HACCP認証の普及推進(家畜防疫・衛生指導対策事業)

地域における自衛防疫活動の強化を図るため、推進会議の開催、生産者段階での防疫演習の実施、牛マイコプラズマ乳房炎の検査等の助成、牛伝染性リンパ腫発生農場の検査、自主とう汰、競馬場在きゅう馬の馬伝染性貧血の抽出検査などに助成。

農場HACCP認証を普及するため、普及推進のための検討会の開催、農場への啓発活動、農場HACCPシステムの構築指導を実施。

項目	内容
地域自衛防疫推進会議	令和6年8月9日及び令和7年3月4日に札幌市で開催
生産段階での防疫演習	家畜保健衛生所と連携し、清水町、愛別町、釧路市、登別市、北見市、中標津町、せたな町、江別市、新冠町、女満別町で開催(計10回)
牛マイコプラズマ乳房炎対策	十勝管内搾乳農場(971農場)の採材費、検査料に助成
牛伝染性リンパ腫清浄化支援	乳用牛飼養2農場(せたな町)、肉用牛飼養1農場(留萌市)の検査、自主とう汰、吸血昆虫対策等に助成
馬伝染性貧血自衛検査	競馬場に在きゅうしている馬の馬伝染性貧血抽出検査への助成(助成頭数:60頭)
農場HACCP普及推進協議会の開催	令和6年11月6日に帯広市で、生産者及び関係者の参集により開催(出席者:54名)、同時にライブ配信を実施(99名視聴)
農場HACCP認証構築指導意見交換会	令和6年5月8日、令和6年7月24日及び令和7年2月6日に札幌市で、農場HACCP審査員を参集し、検討会を開催
農場HACCPシステム構築指導	乳用牛4農場(標津町、妹背牛町、更別町、大樹町)で実施

イ 畜産経営技術指導事業(畜産関係団体調整機能強化事業)

生産者等からの家畜衛生に関する技術の相談、家畜衛生関連の情報提供依頼に応じるため、窓口を設置し、当協会の獣医師及び農場HACCP審査員資格を有する職員が相談に対応。

また、当協会ホームページに講習会内容などの家畜衛生情報を掲載。

(5) 家畜防疫互助基金支援事業

令和6年度家畜防疫互助事業生産者積立金額

(単位 : 戸、頭、円)

区分	家畜の種類		契約戸数	契約頭数	生産者積立金
乳用牛・肉用牛	1 乳用牛				63,354,270
	(1)乳牛(24か月齢以上)		1,809	204,666	50,143,170
	(2)乳牛(24か月齢未満)		1,835	146,790	13,211,100
	2 肉用牛				36,235,040
	(1)肉専用種繁殖雌牛(24か月齢以上)		707	32,105	7,544,675
	(2)肉専用種繁殖雌牛(24か月齢未満)及び肉専用種肥育牛		697	73,729	9,216,125
	(3)肉専用種と乳用種の交雑種肥育牛		215	114,848	10,910,560
	(4)乳用種肥育牛		127	95,152	8,563,680
計			2,519	667,290	99,589,310
豚	企業型	(1)繁殖用種豚(雌)	22	3,055	1,038,700
		(2)繁殖用種豚(雄)	22	160	54,400
		(3)肥育豚	23	30,036	1,802,160
	小 計		23	33,251	2,895,260
	家族型	(1)繁殖用種豚(雌)	30	33,419	12,699,220
		(2)繁殖用種豚(雄)	29	1,232	468,160
		(3)肥育豚	31	353,524	24,746,680
	小 計		31	388,175	37,914,060
	計		54	421,426	40,809,320
合 計			2,573	1,088,716	140,398,630

4. 家畜自衛防疫の推進強化を図る事業

(1) 広報誌等の発行(自衛防疫強化総合対策事業、家畜衛生対策事業)

発行年月	発行部数	標 題	発行者	配布先
令和6年4月	HP掲載	牛、競走用馬の予防注射プログラム	道衛指協	HP掲載
令和6年5月	250部	予防注射事業の事務処理要領	道衛指協	支部、各自衛防疫組合

(2) 家畜衛生技術普及講習会(講習会事業)

ア. 家畜衛生技術普及講習会(技術者向け)

区分	開催月日	場 所	講 師	講習内容	参加者
日高支部	令和6年7月5日	新ひだか町	共立薬品株式会社 江種 尋喜 先生	牛の暑熱対策	50名
本部	令和6年7月8日	札幌市	北海道胆振家畜保健衛生所 中菌 将友 先生 ほか	腎炎型鶏伝染性気管支炎ウイルスが 関与した採卵鶏の死亡羽数増加事 例について ほか	62名
上川支部	令和6年7月18日	旭川市	北海道上川家畜保健衛生所 原田 健弘 先生 ほか	ヨーネ病について ほか	オンライン参加と合 わせ98名
本部	令和6年10月29日	苫小牧市	社台ホースクリニック 田上 正幸 先生 ほか	運動誘発性肺出血に対するShock Wave療法 ほか	67名 (動画視聴102名)
本部	令和6年11月21日	新ひだか町	NOSAI北海道家畜高度医療センター 樋口 徹 先生	40年の二次診療から	76名 (動画視聴160名)
釧路支部	令和7年2月19日	釧路市	北海道釧路家畜保健衛生所 加藤 千絵子 先生 ほか	越境性動物疾病発生時の対応 ほか	30名
合計	6回				384名

イ. 家畜衛生技術普及講習会(農家向け)

区分 支部	牛		豚		鶏		馬		放牧衛生		衛生全般		計	
	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人 員
宗 谷	16	212											16	212
胆 振					2	96					1	19	3	115
十 勝	3	65											3	65
合 計	19	277	0	0	2	96	0	0	0	0	1	19	22	392

5. 家畜衛生関係団体への協力

鶏病研究会北海道支部、北海道オーエスキー病並びに豚熱等侵入防止対策協議会、北海道牛削蹄師会、北海道海外悪性伝染病防疫対策協議会(経理担当)の事業推進に協力。